

<創業支援グループ>

○創業・起業支援の推進(これまでの取組、H30年度取組)

○円滑な事業承継の推進(H30年度取組)

○クラウドファンディングの普及推進(H30年度取組)

1 創業支援拠点の整備

(1) 県の主体的な取組

- ・平成18年度 弘前市に創業支援拠点「夢クリエイ工房」を設置
- ・平成19年度 青森市に創業支援拠点「創業チャレンジクラブ」を設置
- ・平成20年度 八戸市に創業支援拠点「アントレプレナー情報ステーション」を八戸市と共同設置
- ・平成27年度 五所川原市、三沢市及びむつ市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置
- ・平成28年度 黒石市及び十和田市に創業支援拠点「創業相談ルーム」を各市と共同設置

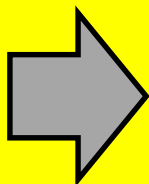


(2) 地域の主体的な取組を支援

- ・平成22～23年度 「アントレプレナー情報ステーション」の八戸市単独設置に向けた運営費補助
- ・平成24～25年度 夢クリエイ工房の代替機能を受継ぐ、弘前市の創業支援拠点「ひろさきビジネス支援センター」等への運営費補助
- ・平成24年度 青森市単独の創業支援拠点「起業・創業等相談ルーム」のスタッフ人材育成



成 果



設置数 8市

(青森市、弘前市、八戸市、黒石市、
五所川原市、三沢市、むつ市、十和田市)
(H30.3月末現在)

新規利用者数 2,357名
(H18～H30.3末)

2 創業支援の風土づくり

(1) 創業・起業支援制度説明会・創業ワンポイントセミナーの開催

- ・ 創業希望者の掘り起こし等のため、関係機関と連携し、県内各所で創業支援制度の説明会と創業の基本的知識の習得を目指したワンポイントセミナーの開催。



(2) 創業・起業実践セミナー、UIJターン創業セミナー・相談会の実施

- ・ 業態・分野別テーマでの創業セミナーの開催。また首都圏等で経験を積んだ方を対象にUIJターン創業セミナー・相談会を開催。



(3) 未来の起業家(高校生・大学生)の育成

- ・ 長期的視点で創業意識を醸成するため、また中・高・大学生を対象とした起業家による講演会を開催。



成果



説明・相談会参加者数
1,519名(H21～H29)

セミナー等参加者数
126名(H29)

起業家講演会参加者数
10校975名(H29)

3 支援の人財の育成強化

(1) インキュベーション・マネジャー(IM)育成支援

- ・ 商工関係機関の職員も対象としたIM養成研修の実施や首都圏での研修受講を支援。



(2) IMの連携促進に向けた協議会の設置

- ・ 県内の創業支援活動の連携促進、スキルアップのための団体、青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会の設置(H24)。



(3) IMのスキルアップに向けた研修会の開催

- ・ 県内の関係機関に所属しているIM等を対象に、県内外のIMや専門家を講師に迎え、創業に関する地域習得と情報を共有するための研修会を実施。

成果



県内IMの人数
48名(H29)

青森県インキュベーション・マネジャー
ネットワーク協議会設立(H24.7)

スキルアップ研修参加者数
119名(H29)

4 あおもり起業家養成研修事業

(1) あおもり起業家養成研修

創業・起業意識の醸成やビジネスプラン作成のノウハウ習得のため、創業支援の専門家(インキュベーション・マネジャー)によるビジネスプラン作成講座を実施。

- ①研修開催場所 【27年度】青森市、八戸市、弘前市 【28年度】青森市、八戸市、弘前市、三沢市
【29年度】黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市
- ②研修参加者 【27年度】58名(全会場) 【28年度】59名(全会場)
【29年度】55名(全会場)

5 起業後のフォローアップ

(1) 創業・起業地域交流会

起業家(経営者)と創業希望者が交流し、情報共有や新しいネットワークづくりを行うことで、起業家同士の仲間づくりや販路開拓に繋げていくことを目的とした地域交流会の実施。

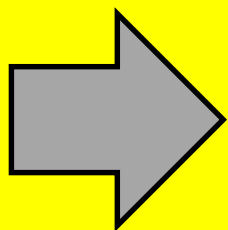
- ①開催場所 【29年度】青森市、黒石市、五所川原市、三沢市
- ②参加者 【29年度】87名(全会場)

(2) 起業家フォローアップ

平成18年度から平成27年度までの間において、県内創業支援拠点等を利用した創業者238名を対象に現在の状況や創業後の課題等を把握するためのアンケート調査を実施。

6 取組の成果

これまで県の創業支援拠点や事業を活用して創業に至った人数



477名 (H18～H30.3末)



創業者事例

SMILE & SPOON



地元の食材を使った安全・安心な食事の提供、食生活改善のための料理教室の開催及び菓子等の販売

さくらアカデミー



理想の学習環境をコンセプトとした、成績向上と夢実現を追求する学習塾の経営

(株)ミライフ



家庭の風呂に入るのが困難な方のために、介護保険制度を利用した訪問入浴介護サービスの提供

たこまさ



高校生や近隣職域の中食需要に対応した路面店での店頭販売によるたこ焼き店の経営

《 創業・起業支援の推進 》

平成30年度の取組

《 創業・起業支援推進力強化事業費 》 予算額：32,930千円

体験・共感型の意識醸成や地域拠点のプラットフォーム機能強化に取り組み、地域支援体制の維持・確立と創業・起業の一層の増加、魅力あふれる多様な仕事づくりを推進する。また、青森県型地域共生社会の実現を見据えたソーシャルビジネス起業モデルの普及啓発や、モノづくり分野での起業気運の醸成に取り組み、地域経済への波及効果拡大を図る。

現 状 と 課 題

【これまで】地域支援体制づくりの推進

受け皿(支援拠点)設置(県主体)

体制
拡充

【支援拠点】

8市体制

地域主体の
体制づくり

【創業者数】

100名超

(単年度)

支援者の
育成等

伴走型
支援

【取組成果】▶ 県内課題等

- ・市町村等の主体的な取組が進行・活発化
▶ **意識醸成**や**実践編**の充実・拡充
- ・関係機関の相互連携が進行・強化
▶ **民間事業者**の参画・連携を促進
- ・支援拠点が県内全域へ拡充
▶ 維持・確立に向けた**追い風支援**
- ・**2025年問題対応**▶ 創業面のアプローチ
- ・輩出事例が増加＝実現性・多様性が向上
▶ **波及効果の拡大を目指す**

事 業 内 容

取組1 体験・共感型 意識醸成事業(5,381千円)

- (1)若者・女性テストマーケティングの実施
拠点利用者や輩出創業者を出展対象としたフェアの開催
- (2)シニア層に対する起業意識啓発セミナーの開催
- (3)UIJターン創業PR事業
事例集の策定、首都圏イベントへのUターン創業者派遣
- (4)起業家座談会及び合同支援制度説明会の開催
地元起業家による事例発表等を開催(関係機関等との連携)

取組2 支援プラットフォーム機能強化事業(26,464千円)

- (1)民間事業者メンターの顕在化
創業支援に前向きな事業者のデータベース化・情報発信、先輩起業家ツアー・交流会の開催、推進役(CD)配置
- (2)地域インキュベーション体制の確立
21財団への専門家配置(県外での伴走型支援や相談ルームへの派遣)、次世代専門家の養成を実施

取組3 共生社会対応 起業モデル普及啓発事業(545千円)

- (1)生活産業ビジネス起業モデルの普及啓発セミナーの開催

取組4 モノづくり起業 気運醸成事業(540千円)

- (1)起業シーズの調査・見える化(リーフレットの作成)

事 業 効 果

潜在層の掘り起し・気運醸成

- ・域内での出会い・交流が増加
- ・世代・業種別のネットワーク構築
- ・移住・定住の実現手法として、「創業・起業」の認識が向上

支援の輪の拡大・強化

- ・民間事業者(経営者や先輩起業家等)の参画促進、新たなネットワークや支援フェーズの構築
- ▶ **官民協同型の起業エコシステム**

地域支援体制の維持・発展

青森県型地域共生社会の実現

- 多様な仕事づくり
- 雇用の創出・拡大
- 人口減少克服
- 地域経済の活性化

《 円滑な事業承継の推進 》

平成30年度の実施

事業承継円滑化支援事業費

②95,553千円

③05,222千円

担当課:地域産業課
創業支援G(内線3661)

【H30戦略プロジェクト】
人口減少克服プロジェクト

商工団体等との連携のもと、後継者不在の企業を受け手(役員・従業員、起業家、M&A活用により第三者等)に円滑に事業承継し、事業所の減少に歯止めをかけることで、県内の雇用や地域経済の維持・振興を図る。

【現状・課題】

①県内事業所数の減少

- ・事業所数:①67,082 所→②60,866所
- ・従業員数:①544,757人→②542,495人
- ・人 口:①1,423千人→②1,321千人

出典:総務省「事業所・企業統計調査①②」
「経済センサス①②」「人口推計①②」

②代表者が高齢の企業でも後継者不在

代表者世代別では、80歳代で約3割、70歳代で約4割、60歳代で約5割が後継者不在。

(出典:TDB:青森県内企業の後継者問題に関する実態調査2014)

③国の取組を受けて、本県も事業承継に係る意識啓発及び青森県事業引継ぎ支援センターの認知度向上が必要



県内の雇用や地域経済を維持するためには、事業承継を円滑に行い、後継者不在が理由の廃業者数を減らすことが急務

【事業内容】

【取組1】後継者不在企業の把握・フォローアップ

(②92,349千円、③02,349千円)

- (1)後継者不在企業の調査
後継者不在企業のヒアリング調査、事業承継準備状況の段階に応じた情報提供等の支援の実施。(調査対象:590件)
- (2)フォローアップセミナー・相談会の開催
調査で明らかになった事業承継を希望する企業を対象に、専門家によるセミナー及び個別相談会を開催。(10地区×1回)

【取組2】「受け皿」の醸成(②91,760千円、③01,760千円)

- (1)後継者・受け手企業育成セミナーの開催
若手経営者や商工会・商工会議所青年部、起業希望者等を対象に事業承継による経営拡大・異業種参入・起業の事例紹介等に係るセミナーを開催。(6地区×1回)

【取組3】支援体制の強化(②91,444千円、③01,113千円)

- (1)支援機関情報交換会の開催
各機関の取組や県内外支援事例の情報共有等を実施(1地区×2回)
- (2)支援機関担当者等専門研修の開催
経営指導員、税理士、金融機関窓口担当者等を対象に、県外講師による事業承継の知識やノウハウ習得に係る講演等を実施(6地区×1回)

【事業効果】

【効果①】

青森県事業引継ぎ支援センターの事業引継ぎ支援データベース登録件数(後継者不在企業+受け手)の増加による円滑な事業承継

【効果②】

関係機関の連携による事業承継支援体制の強化



・県内事業所数の減少に歯止め



・雇用及び地域経済の維持・振興

《 クラウドファンディングの普及推進 》

平成30年度の取組

あおりクラウドファンディング推進事業費（²⁹6,201千円、³⁰6,201千円）

【事業概要】購入型のクラウドファンディングを運営する民間事業者と連携し、起業者、中小企業者による地域活性化に資する魅力的なプロジェクトについて、県内外の応援者から資金調達を行う事例を創出し、クラウドファンディングの普及を推進する。

【現状・課題】

起業者、中小企業者による新規性のある魅力的な事業に対する資金調達の手段が限られている。

- ・金融機関等は事業者の財務状況や担保、これまでの実績を重視
- ・株式市場等からの直接金融による資金調達も困難



新たな資金調達の手法として、インターネットで不特定多数から資金を集める「クラウドファンディング」が注目されている。

【事業内容】

○クラウドファンディングの活用によるプロジェクト支援（²⁹6,201千円、³⁰6,201千円）

①実施方法

クラウドファンディング事業者に対する委託事業として実施する。

②業務内容

- ・クラウドファンディングの周知
県内中小企業者等に対し、クラウドファンディングを周知するセミナー等を実施
- ・プロジェクトの募集・選定
県内中小企業者等から地域活性化に資する魅力的なプロジェクトを募集、選定
- ・支援金の募集・提供
選定されたプロジェクトについて購入型のクラウドファンディングにより支援金を募集し、目標額を達成した場合にプロジェクト実施者に提供
- ・プロジェクトのフォローアップ
プロジェクトのフォローアップ支援を継続的に実施

【事業効果】

財務状況や担保の有無、実績等に関わらずプロジェクトの内容次第で資金調達が可能に



新たなチャレンジがしやすい環境が整備



**起業など働き方の多様化
人口減少の克服**

さらに、

プロジェクトの支援を通じた青森ファンの獲得

《 クラウドファンディングの普及推進 》

平成29年度の取組

あおもりクラウドファンディング推進事業費

(6,201千円)

【事業概要】

購入型のクラウドファンディングを運営する民間事業者と連携し、起業者、中小企業者による地域活性化に資する魅力的なプロジェクトについて、県内外の応援者から資金調達を行う事例を創出し、クラウドファンディングの普及を推進する。

【現状・課題】

起業者、中小企業者による新規性のある魅力的な事業に対する資金調達の手段が限られている。

- ・金融機関等は事業者の財務状況や担保、これまでの実績を重視
- ・株式市場等からの直接金融による資金調達も困難



新たな資金調達の手法として、インターネットで不特定多数から資金を集める「クラウドファンディング」が注目されている。

【事業内容】

○クラウドファンディングの活用によるプロジェクト支援

①実施方法

クラウドファンディング事業者に対する委託事業として実施する。

②業務内容

・クラウドファンディングの周知

県内中小企業者等に対し、クラウドファンディングを周知するセミナー等を実施

・プロジェクトの募集・選定

県内中小企業者等から地域活性化に資する魅力的なプロジェクトを募集、選定

・支援金の募集・提供

選定されたプロジェクトについて購入型のクラウドファンディングにより支援金を募集し、目標額を達成した場合にプロジェクト実施者に提供

・プロジェクトのフォローアップ

プロジェクトのフォローアップ支援を継続的に実施

【事業効果】

財務状況や担保の有無、実績等に関わらずプロジェクトの内容次第で資金調達が可能に



新たなチャレンジがしやすい環境が整備



**起業など働き方の多様化
人口減少の克服**

さらに、

プロジェクトの支援を通じた青森ファンの獲得